

平成18年度病害虫発生指導情報
対象病害虫：イネ・フタオビコヤガ（イネアオムシ）

平成18年8月4日
鳥取県病害虫防除所

1 情報の内容

7月下旬現在、県内巡回調査定点において、フタオビコヤガ（イネアオムシ）の発生が東部地区、西部地区で目立っています。発生が多いほ場では幼虫による被害が懸念されますので、防除を徹底してください。

2 発生状況

- (1) 巡回調査の結果、フタオビコヤガ（イネアオムシ）の発生ほ場率は県平均56.2%となっている（表）。特に、東部および西部地区では発生が多く、平均発生ほ場率は約70%である。
- (2) 7月下旬現在、ほ場での発生の主体は、若齢～老齢幼虫であり、各ステージが混在して発生している。

3 防除上注意すべき事項

- (1) ひとめぼれ、コシヒカリ等、8月上旬に出穂を迎えるほ場
- ・発生が多い場合は、穂ばらみ期～出穂直前に防除を行う。なお、この時期は、穂いもちおよび紋枯病等の防除時期となるので、殺虫殺菌混合粉剤による同時防除が有効である。
 - ・上記の時期に防除が行えなかった場合は、出穂後にカメムシ類等との同時防除を行う。
- (2) 遅植え、中性品種等、8月中旬頃に出穂を迎えるほ場
- ・激しく食害されている場合（発生の主体が中～老齢幼虫で、被害株率が90%以上、食害葉面積率10～20%以上の場合）は、早急に粉剤等の防除を行う。なお、本県におけるフタオビコヤガの防除水準は農業試験場で検討中なので、上記の防除水準は暫定的なものである。
 - ・上記水準には達していないが、発生が多い場合は、穂ばらみ期～出穂直前に防除を行う。
- (3) 農薬の使用にあたっては、必ず農薬使用基準を遵守する。

表 フタオビコヤガの発生状況

調査地区	調査地点	発生ほ場率	
東部	鳥取市	嶋	60%
		朝月	100%
		賀露	20%
		河内	80%
	岩美町	蒲生	100%
		蒲富	100%
	鳥取市 福部町	栗谷	100%
	鳥取市 国府町	玉鉾	100%
	鳥取市 気高町	重高	10%
	鳥取市 気高町	下原	100%
	鳥取市 鹿野町	小別所	40%
	鳥取市 青谷町	奥崎	10%
	智頭町	三田	60%
	鳥取市 用瀬町	鷹狩	100%
	鳥取市 佐治町	古市	20%
	鳥取市 河原町	福和田	40%
	八頭町	池田	100%
	八頭町	橋本	80%
	八頭町	徳丸	80%
	若桜町	須澄	100%
東部計		70.0%	
中部	倉吉市	小鴨	0%
		下米積	0%
		服部	0%
	湯梨浜町	北福	40%
	三朝町	牧	60%
	倉吉市 関金町	今西	0%
	北栄町	米里	0%
	湯梨浜町	長瀬	0%
	北栄町	瀬戸	0%
	琴浦町	美好	40%
	琴浦町	出上	0%
	中部計		12.7%
西部	米子市	東八幡	10%
		奈喜良	100%
		車尾	10%
	大山町	羽田井	20%
	大山町	旧奈和	80%
	米子市 淀江町	福岡	10%
	大山町	佐摩	40%
	南部町	平	10%
		天万	100%
		原	100%
	伯耆町	下鴨部	80%
		吉長	10%
		二部	100%
	江府町	宇代	100%
		洲河崎	100%
	日野町	黒坂	100%
	日南町	矢戸	100%
下石見		100%	
阿毘緑		100%	
西部計		66.8%	
県計		56.2%	